

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	03	01	02	0405	高齢者交流活動支援事業費		
総合計画	分野	暮らし					
	政策	2-5	福祉の充実				
	施策	2	高齢者福祉の充実				
目的	高齢者の生きがいづくり						
対象	高齢者等						
意図	高齢者の交流や活動の場の創出を図り生きがいを持ってもらう						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○ふれあい・あんしん交流 1,600千円 社会福祉協議会のふれあいいきいきサロン事業に対する補助 ○敬老会事業 21,600千円 社会福祉協議会を通じ各地域で開催されている敬老会経費への支援 米寿及び百歳以上の高齢者への記念品贈呈							
市民参画の有無 []							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
①	サロン設置数	箇所	計画	175	190		
			実績	176	192		
②			計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
①	サロン設置数	箇所	目標	175	190		
			実績	176	192		
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
サロンの設置数を成果目標としたもの。現在の社協が支援するサロン数は192団体であるが、平成28年度は200団体の設置を目標としている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	高齢者の住み慣れた地域で生きがいを持ちいきいきと暮らせるまちづくりのための取り組みとして市の関与は必要。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	高齢者の増加のなかにあつては、特にもひとり暮らし世帯や高齢者世帯などの地域の支え合いが必要であり、当該世帯と地域との交流の在り方は実情に併せた事業展開が必要。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない <input type="checkbox"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	花巻市負担金及び補助金交付基準要綱に基づき交付対象経費の2分の1以内としている。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全地域でのサロン事業推進。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
ふれあいいきいき交流事業は、高齢者のより身近で近場での定期的な集いの創出により、日々の暮らしのなかでの生きがいや楽しみをもってもらおう。このことから、社会福祉協議会で推進する地域サロン事業への補助支援を行うものであるが、そのサロン組織を利用した介護予防事業に取り組みなどの展開を図る。 敬老会事業（長寿祝品贈呈）補助は、長年にわたり開催されてきた地区に根づいた事業であり、高齢者を敬う心を地域住民へ啓発するイベントでもあり、市の支援の継続を図る		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	01	02	0405	高齢者交流活動支援事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		23,814	23,200		△ 614
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	23,814	23,200		△ 614

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

老人福祉法第5条に基づく事業展開。敬老会については、高齢者の長寿を祝し高齢者福祉の向上、敬老思想の高揚を図るため、各地域で開催される敬老事業の事業費を補助するもので、合併以前より各市町で取り組まれており、合併後は、社協への事業補助先を統一した経緯がある。

事業概要

- ふれあい・あんしん交流 1,600千円
社会福祉協議会のふれあいきいきサロン事業に対する補助
- 敬老会事業 21,600千円
社会福祉協議会を通じ各地域で開催されている敬老会経費への支援
米寿及び百歳以上の高齢者への記念品贈呈

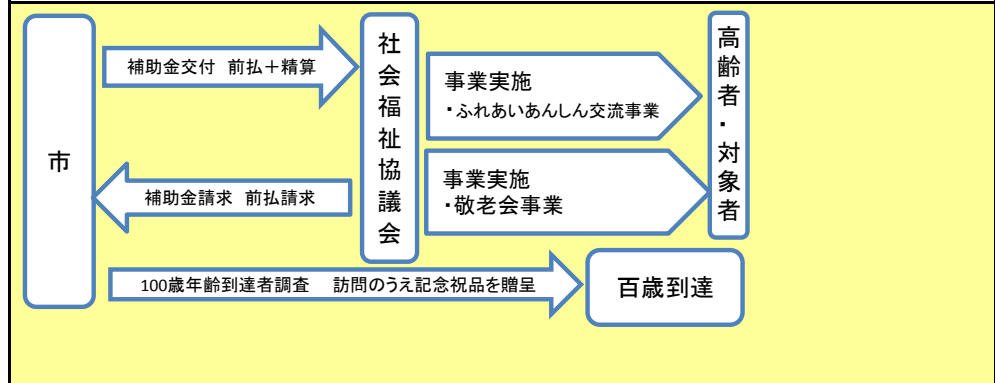
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

ふれあい・あんしん事業：社協主導で活動が展開されているなかで、サロン立ち上げ支援が積極的に行われている。地域包括ケアシステムの一翼を担う地域支援の事業でもあることから、高齢者の集いの場として、また介護予防の取り組みの場としての今後さらなる支援を図る必要がある。
敬老会補助事業：補助継続が必要であるも、敬老会開催形態や参集年齢、補助金額の設定について協議を重ねる必要あり。

担当部署 部名 健康福祉 課名 長寿福祉 担当係長 高橋 朱里 内線 515

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



① 敬老会事業 21,600千円

【目的】高齢者福祉、敬老思想について市民の関心と理解を深め、高齢者が生きがいある暮らしができるまちづくりをする。
19節負担金補助金：20,177千円 【交付先】花巻市社会福祉協議会
【内容】各地区で開催されている敬老会の開催敬補助
75歳以上高齢者人口(施設入所者除く)16,814人×@1,200円
8節各種行事報償費：1,423千円 【記念品贈呈】米寿、百寿、101歳以上長寿者に敬老会式上で記念品を贈呈
米寿 金杯贈呈 その他、百寿到達者に対し、誕生日に市長メッセージ記念品と祝花贈呈
百歳 誕生日祝花記念品贈呈 ※敬老会開催地区 18地区68行政区
百歳 敬老会記念品贈呈
101歳以上 記念品贈呈

② ふれあい・あんしん交流事業 1,600千円

【目的】高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち「気軽に参加」できる交流会を通じて地域の様々な機関団体とつながりを持ち共に支え合う地域体制づくりを構築するための一助とする。
19節負担金補助金：1,600千円 【交付先】花巻市社会福祉協議会
【内容】ふれあいホーム事業(社協事業)
自分の住む身近な地域で運営される誰もが参加できる地域サロンの設立と持続的な運営行われるよう事業推進に取り組む。(社協への費用補助)
H27サロン設置数(社協事業対象サロン)
花巻 102
大迫 23 ※社協事業において活動の支援を行うサロンは、サロンへの参加を制限しない、誰もが参加できるサロンのみとされている。
石鳥谷 54
東和 13
全体 192→200を目標